

建築設備工事監理報告書（簡易版）の記載について

「工事計画・施工状況報告」指示書にて、例えば、チェックボックスに（■P1 □P2 □P3）として、報告指示をした場合には、次のように報告するものとしています。

建築設備工事監理報告書【簡易版】		※原則戸建て住宅に限る。		
様		平成	年	月 日
工事の監理状況を報告します。 この監理報告書は事実に相違ありません。				
		工事監理者		印
項 目	報 告 事 項	報告事項		
		P1	P2	P3
1. シックハウス対策用換気設備	① 換気エリア・経路、建具等の通気性（換気計画図の添付）	良	否	□ □ □
	② 換気スイッチの措置（常時運転を指示する注意書き等）	良	否	□ □ □
	③ 換気設備の取付・運転状況	良	否	□ □ □
	④ 給排気口の設置の状況（位置、大きさ、雨・虫除け対策）	良	否	□ □ □
	⑤ 換気ダクト等の施工状況	良	否	□ □ □
	⑥ 換気装置の能力の確認（計算書、資料の添付）	良	否	□ □ □
	⑦ 上記⑥に代えて実測風量による場合は表1に記載のこと			□ □ □
2. 火を使用する室、居室	① 該当する設備の有無	有	無	□ □
	② ファン及びダクト取付状態、運転状況	良	否	□ □
	③ 上記の報告に加え実測風量を表2に記載すること			□ □
3. 延焼の恐れのある外壁の換気孔に設ける防火設備等	① 防火ダンパー・防火おおい（100cm ² 以下）	有	無	□ □
	② 有効な検査・点検が可能な施工	良	否	□ □
	③ 貫通部のモルタル等不燃材による穴埋め及び取付状態	良	否	□ □

良・否の記入をする。

<この欄の記入は特にチェックする必要ありません。（報告区分の目印です。）>

火気使用箇所	係数N	理論排ガス量 K(㎫/kWh)	使用器具名 燃料消費量q(kWh)	燃料消費量合計 Q=Σq	必要換気量 Y=NKQ(㎫/h)	実測風量* (㎫/h)

【報告事項】 ※窓用換気扇については定格風量を記載してもよい

・別紙指示書の以下の報告区分に従い、上表の同列の(□)印の事項を報告すること。なお設備が無い場合は不要。

(P1) 令第10条第三号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1)

(P2) 令第10条第四号の規定の適用を受ける建築物を対象とする。(提出項目:1,2,3)

(P3) 令第10条第三号及び第四号の規定の適用を受ける建築物以外を対象とする。(提出項目:全て)

<この部分に参考として説明をしています。>